

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科	理科	学年	1年
----	----	----	----

1. 学習の目標

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1学期	単元1 いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類の仕方 2章 植物の分類 3章 動物の分類 単元2 身のまわりの物質 1章 身のまわりの物質とその性質 2章 気体の性質	<単元1> いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。 身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた及び状態変化、水溶液のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
2学期	3章 水溶液の性質 4章 物質の姿と状態変化 単元3 身のまわりの現象 1章 光の世界 2章 音の世界 3章 力の世界	<単元2> 身のまわりの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。 身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 <単元3> 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現する。
3学期	単元4 大地の変化 1章 火をふく大地 2章 動き続ける大地 3章 地層から読みとる大地の変化	<単元3> 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。 大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 <単元4> 大地の成り立ちと変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現する。 大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	・学習内容をどれだけ理解できているか。 ・観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けているか。	・定期試験、小テスト、授業中の課題等
②思考・判断・表現	・実験の条件や与えられた事柄、授業で学習したことをもとに見通しをもって実験・観察を行っているか。 ・実験・観察・実習から得られた結果を計算し、グラフで表現したもの。また分析（比較、類推、仮定）して解釈し、文章で表現したもの。	・定期試験、小テスト、授業中の課題等、授業内の発言内容（ノートの記録）
③主体的に学習に取り組む態度	・授業に進んで関わり、理科の見方・考え方を働かせての対話。自分の考えや他者の考えの事前事後の記録。	・課題プリント等の記録、授業態度の行動観察

(2) 観点と評価の関係

			評価
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	3
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	
B	C	C	2
C	C	C	1

<評価の注意事項>

定期試験は、大切です。しかし、定期テストだけで評価を決めるわけではありません。普段の授業内の取り組みなども評価対象です。粘り強く取り組む姿勢とそのプロセスを経て到達した自己の変容の記録が評価されます。自分の考えが正しかったとしてもそれにとどまらずに、他者の考えを取り入れて、多様な視点で物事を見て、身近なものとの関連付けをしてみましょう。

4. 教科に関するアドバイス

理科は観察・実験での取り組みが非常に大切です。自然現象に対する「なぜ?」「どうして?」という疑問や好奇心が理科を学ぶエネルギーに変わります。身近な現象への気付き（疑問）から課題を設定し、仮説を立てて見通しをもって観察・実験に取り組みましょう。得られた結果から自分なりの結論を見出すことが思考力（理科の考える力）の向上につながるの、自分の言葉で人に伝わるように表現することを心がけましょう。理科は生活そのものです。掃除や洗濯、料理は化学反応でもあります。理科を学ぶことで生活が豊かになります。また、自然のことや自分の体のことを学ぶことで自分の身を守ることもつながります。自分の興味や生活と結びつけながら学んでいきましょう。